

「リサーチ・アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」

第3回（平成9年）の結果について

平成9年9月19日

社団法人日本証券アナリスト協会

ディスクロージャー研究会

日本証券アナリスト協会では、企業情報開示の向上を目的とした「リサーチ・アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」制度を平成7年度からスタートさせましたが、このほど、当協会のディスクロージャー研究会（松島憲之座長）による第3回の選定結果がまとめました。その概要は下記の通りであります。

当協会といたしましては、引き続きこの制度による定期的な優良企業の選定を通じて、公開企業とリサーチ・アナリストとの意志疎通を図るとともに、企業情報開示の向上、促進に寄与して参りたいと存じますので、関係各方面のご理解とご支援をお願いする次第であります。

記

1. 選定の趣旨

近年、わが国の証券市場の構造変革と活性化を巡る論議の中で、証券アナリストが企業のファンダメンタルズに基づく客観的な分析と投資価値の評価を行い、投資家に対して高度の投資情報を提供することは、効率的な市場形成にとって欠くことのできないものであるという認識が高まってきている。証券アナリストがこうした期待に応えて合理的な証券分析を行っていくためには、自ら分析技術の不断の研鑽に努めるとともに、企業情報のディスクロージャーが質・量両面から充実されることが極めて重要と考えられる。

このような観点から、予て、企業のディスクロージャーに関する事例研究や提言を行ってきたディスクロージャー研究会（以下当研究会。メンバー別紙1）では、平成7年度から企業と投資社会との意志の疎通をさらに向上させる手段のひとつとして、証券アナリストの立場から望ましい企業情報のディスクロージャーについての評価基準を策定し、経験豊富なアナリストによる綿密な企業別評価を行い、ディスクロージャー優良企業を業種別に選定し、各業種における模範としてこれを公表することとした。

2. 本年度の評価対象

- (1) 本年度は、東証 1 部上場株式時価総額を基準とし、建設業（ゼネコン、上位 11 社）、化学産業（総合化学、上位 9 社）、医薬品産業（上位 11 社）、鉄鋼業（上位 8 社）、機械産業（上位 11 社）、電気・精密機器産業（上位 16 社）、自動車産業（上位 10 社）、商社（総合商社、全 9 社）および小売業（百貨店・スーパー、上位 11 社）の 9 業種合計 96 社（企業名別紙 2）に絞って評価を行った。
- (2) また、評価範囲は、原則として、平成 8 年度決算発表以降における企業情報のディスクロージャー状況とした。

3. 評価方法および手続き

評価に当たっては、まず当研究会が先に策定した「ディスクロージャー・評価基準例」（別紙 3）をベースとして、建設、化学、医薬品、鉄鋼、機械、電気・精密機器、自動車、商社および小売業の 9 業種の各専門部会（メンバー別紙 4）が、それぞれ当該業種の特性に応じて手直しを加えた「業種別ディスクロージャー評価基準（スコアシート）」を作成した。これらの評価基準は、業種ごとに項目、配点等において若干の差異はあるが、何れも有価証券報告書等による制度的開示よりも、アナリストへの説明会、インビューチ等企業の自発的、積極的な開示活動の評価に重点をおいていることが特徴である。

この業種別評価基準に基づき、リサーチ・アナリスト経験年数 3 年以上でかつ現在当該業種担当概ね 2 年以上の者の中から、評価対象企業に精通した延 246 名（52 社、メンバー別紙 5）がスコアシート記入を行った。これを各部会において取りまとめ、慎重に分析、評価のうえ、当研究会としての優良企業選定を行った。

4. 評価結果

評価結果は、各業種別ディスクロージャー評価比較総括表（別紙 6）に示すとおりであり、業種別の平均点は、建設業（ゼネコン）63 点（昨年度 61 点、以下カッコ内は昨年度）、化学産業（総合化学）63 点（56 点）、医薬品産業 71 点（69 点）、鉄鋼業 53 点（59 点）、機械産業 52 点（本年度新規実施）、電気・精密機器産業 62 点（57 点）、自動車産業 47 点（50 点）、商社（総合商社）47 点（49 点）、小売業（百貨店・スーパー）58 点（48 点）であった。なお、業種間の平均点のばらつきは、評価項目の内容、数および配点に業種間の相違があることを考慮すれば必ずしもディスクロージャーの優劣をそのまま表すものとはいえない。

また、業種別に平均点を昨年度と比較すると、今年度は、アナリストのディスクロージャーに対する要求水準の高まりを反映してスコアシートの個別評価項目の修正と配点の見

直しを行い、企業にとってより厳しいスコアシートになったにもかかわらず、5 業種においては昨年度平均得点率を上回る結果となった。しかし、個別評価項目の修正と配点の見直しの大きかった業種（鉄鋼業、商社）および新規に評価対象に追加した企業数の多かつた業種（自動車産業）の 3 業種は、昨年度平均得点率を下回ることとなった。この点に関し、スコアシート記入者の意見を総合すると、上記 3 業種を含め継続して評価対象となつた企業の多くは、この評価を契機として I R 体制の整備、アナリスト受入れ姿勢の改善あるいは情報の質の充実を図りつつあり、これらの企業のディスクロージャーは着実に向 上しているといえよう。

5. 本年度のディスクロージャー優良企業および選定理由

- (1) 業種別の優良企業は、それぞれの業種で第 1 位の得点を獲得し、当該業種において他社の模範になると認められる次の 9 社を選定した。

建設業（ゼネコン）	鹿島建設	(3 回連続)
化学産業（総合化学）	旭化成工業	(昨年度 2 位)
医薬品産業	第一製薬	(3 回連続)
鉄鋼業	住友金属工業	(2 回連続)
機械産業	小松製作所	(新規実施)
電気・精密機器産業	日立製作所	(昨年度 3 位)
自動車産業	本田技研工業	(3 回連続)
商社（総合商社）	三菱商事	(3 回連続)
小売業（百貨店・スーパー）	ジャスコ	

- (2) 選定理由

(鹿島建設：総合得点 82 点)

同社は、決算説明会に経営トップが出席してアナリストと有益なディスカッションを行っているほか、I R 部門に十分な情報を集積するとともに、企画部門、財務部門、海外事業部門が I R 部門を積極的にバックアップして専門的できめ細かな対応に努め、近年そのディスクロージャーを急速に改善してきていることが評価される。

(旭化成工業：総合得点 89 点)

同社は、他社にさきがけて経営トップとのアナリストミーティングの開催、連・単決算同時発表、極めて多くの有用な情報の説明資料による詳細な開示、I R 部門に十分な情報を集積して要領のよい的確な説明および工場見学会の実施など、ディスクロージャ

一が総合的に充実していることが評価される。

(第一製薬：総合得点 89 点)

同社は、I R 部門への十分な情報集積とアクセスの容易さ、専門的質問に対する担当部門の迅速な回答、連結子会社の要約 P/L の作成開示、開発品の上市予定期の時系列表の作成、連結の予想原価率・販管費比率等の資料記載など、ディスクロージャーに対する理解と内容が極めて優れていることが評価される。

(住友金属工業：総合得点 61 点)

同社は、経営トップのアナリストミーティング・トピックスに関する説明会・中径シームレスパイプ工場見学会の開催などアナリスト受入れ体制が極めてよく、決算説明会では連結子会社の詳細な状況説明を行っているほか、営業統括・企画調査部門も I R 部門に含めて専門的対応の充実を図るとともに、I R 部門に十分な情報を集積し、担当者がアナリストと明快かつ有益なディスカッションを行っていることなどが評価される。

(小松製作所：総合得点 82 点)

同社は、連・単決算同時発表、子会社担当者によるグループ会社の詳細な説明、連結決算添付資料の充実、説明会での会計責任者の的確な回答、経営トップ等とのミーティングでの経営戦略の十分な説明など、開示内容を大きく改善しているほか、I R の中核である広報部門への財務部門のバックアップ体制を進展させその情報集積を高め、アナリストと有益なディスカッションを行っていることなどが評価される。

(日立製作所：総合得点 73 点)

同社は、決算説明会における経営陣の経営方針の説明、四半期別事業部門説明会の開催などアナリスト受入れ姿勢が極めてよく、かつ、I R 部門に多数のスタッフを配して十分な情報を集積し、アナリストと有益なディスカッションを行うなど、ディスクロージャーが総合的に充実していることが評価される。

(本田技研工業：総合得点 75 点)

同社は、説明会における経営方針説明など常に経営トップによる I R 活動の率先垂範、工場見学会等の積極的開催、極めて多くの有用な情報の説明資料による詳細な開示、I R 部門に十分な情報を集積して要領のよい的確な説明を行うなど、ディスクロージャーが総合的に充実していることが評価される。

(三菱商事：総合得点 61 点)

同社は、幅広い分野のスマート・グループ・ミーティングや見学会の実施などアリ

スト受入れ体制が極めてよい。また、関連会社の持分損益推移など極めて多くの有用な連結情報を説明資料に詳細に開示しているほか、I R部門のスタッフも多く、要領のよい的確な説明を行っており、ディスクロージャーが総合的に充実していることが評価される。

(ジャスコ：総合得点 77 点)

同社は、決算説明会等において社長等が経営方針・グループ戦略等を説明しているほか、主要連結子会社の収益の実績・見通し資料の作成など説明資料の内容を充実させている。また、部門別月次売上高等の詳細かつ迅速な開示など自主的公表情報への対応も優れていることなどが評価される。

以 上

平成9年9月

ディスクロージャー研究会委員

座長 松島憲之 日興リサーチセンター 事業調査部主任研究員 (検定会員)

伊藤敏憲 大和総研 企業調査第一部主任研究員 (検定会員)

大橋圭造 日本興業銀行 証券部調査課長

熊谷功吉 新日本証券 企業投資調査部調査三課長 (検定会員)

後藤潔 ナショナル証券 金融法人部次長 (検定会員)

許斐潤 野村證券金融研究所 企業調査部主任研究員 (検定会員)

千種裕之 山一証券経済研究所 企業調査部課長 (検定会員)

永見和彦 岡三証券 証券情報部付次長 (検定会員)

湯原皓爾 日興證券投資信託委託 管理本部付部長

渡邊良一 明治生命保険 有価証券部証券業務グループ副長

(五十音順、敬称略)

以上10名

「リサーチ・アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」
第3回(平成9年)評価対象企業

(注)アンダーラインは第3回追加企業

建設専門部会	ゼネコン	東証市場第一部上場 株式時価総額上位等	11社	鹿島建設株式会社、清水建設株式会社、 大成建設株式会社、株式会社大林組、 戸田建設株式会社、西松建設株式会社、 株式会社熊谷組、五洋建設株式会社、 株式会社奥村組、株式会社フジタ、 <u>前田建設工業株式会社</u>
化学専門部会	総合化学	同 上	9社	旭化成工業株式会社、三菱化学株式会社、 住友化学工業株式会社、信越化学工業株式会社、 昭和電工株式会社、三井東圧化学株式会社、 宇部興産株式会社、東ソー株式会社、 三井石油化学工業株式会社
医薬品専門部会	医薬品	同 上	11社	武田薬品工業株式会社、三共株式会社、 大正製薬株式会社、山之内製薬株式会社、 エーザイ株式会社、第一製薬株式会社、 萬有製薬株式会社、小野薬品工業株式会社、 藤沢薬品工業株式会社、塩野義製薬株式会社、 中外製薬株式会社
鉄鋼専門部会	鉄 鋼	同 上	8社	新日本製鐵株式会社、川崎製鉄株式会社、 日本鋼管株式会社、住友金属工業株式会社、 株式会社神戸製鋼所、日立金属株式会社、 日新製鋼株式会社、東京製鐵株式会社
機械専門部会 (今回から実施)	機 械	同 上	11社	<u>株式会社小松製作所、ファンック株式会社、</u> <u>株式会社クボタ、SMC株式会社、</u> <u>株式会社荏原製作所、日本精工株式会社、</u> <u>ミネベア株式会社、栗田工業株式会社、</u> <u>NTN株式会社、ダイキン工業株式会社、</u> <u>株式会社アマダ</u>
電気・精密機器専門部会	電気・ 精密機器	同 上	16社	松下電器産業株式会社、株式会社日立製作所、 ソニー株式会社、株式会社東芝、 キヤノン株式会社、日本電気株式会社、 富士通株式会社、シャープ株式会社、 三菱電機株式会社、京セラ株式会社、 TDK株式会社、三洋電機株式会社、 株式会社村田製作所、ローム株式会社、 株式会社リコー、松下電工株式会社
自動車専門部会	自動車	同 上	10社	トヨタ自動車株式会社、本田技研工業株式会社、 日産自動車株式会社、三菱自動車工業株式会社、 いすゞ自動車株式会社、マツダ株式会社、 スズキ株式会社、日野自動車株式会社、 富士重工業株式会社、ダイハツ工業株式会社
商社専門部会	総合商社	同 上	9社	三菱商事株式会社、三井物産株式会社、 住友商事株式会社、伊藤忠商事株式会社、 丸紅株式会社、日商岩井株式会社、 株式会社トーメン、ニチメン株式会社、 兼松株式会社
小売業専門部会	百貨店・スーパー	同 上	11社	株式会社丸井、株式会社高島屋、株式会社三越、 株式会社伊勢丹、株式会社阪急百貨店、 株式会社イトーヨーカ堂、ジャスコ株式会社、 株式会社ダイエー、株式会社マイカル、 ユニー株式会社、株式会社西友

ディスクロージャー評価基準例（スコアシート）

評価対象企業名			
上記企業に対する直近1年間の接触回数			
①説明会等出席	②インタビュー等取材訪問	③その他	合計
回	回	回	回

合計4回未満の者、または①と②の小計が2回未満の者はこのスコアシート記入の必要がありません。

評価者	会社名 所属部・課 氏名 TEL()	—
-----	------------------------------	---

1. 決算短信および有価証券報告書における開示（全体の10～20点）（本項目は各専門部会委員のみが記載する）

項目 （各質問項目のうち当該会社に該当しない） （項目はその回答を省いて下さい。）	①②のそれぞれについていずれか1つにチェックをして下さい		
	①(× %) 決算短信		②(× %) 有価証券報告書
	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)
(1) 決算短信および有価証券報告書におけるディスクロージャーは前年に比べて改善していますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 「当期の業績の概況」および「配当政策（株主還元政策）」は十分に説明されていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 設備投資および減価償却費の実績が記載されていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 部門別の売上高が国内・輸出別に記載されていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5) 事業別ならびに仕向け先別の受注実績および受注見通しが記載されていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6) 営業外損益では、受取利息、受取配当金、支払利息および有価証券売却損益が記載されていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7) 連結対象子会社・関連会社の収益状況が説明されていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8) 連結対象子会社・関連会社、グループ関係企業の資本関係、投融資および保証が説明されていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9) 連結決算の事業種類別および所在地別セグメント情報は具体的に開示されていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(10) 連結ベースの設備投資および減価償却費の実績が記載されていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

（注）決算短信には、東証の要請による添付資料等（決算短信と同時配布資料に限る）を含む。

2. 説明会、インタビューおよび説明資料等における開示（全体の60～75点）

項目 （各質問項目のうち当該会社に該当しない） （項目はその回答を省いて下さい。）	いずれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)
(1) 説明会、インタビューおよび説明資料等におけるディスクロージャーは前年に比べて改善していますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 決算発表後の説明会の開催もしくは取材等への対応は迅速に行われていますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 決算説明会を実施していますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 連結決算説明会を実施していますか、あるいは決算説明会で連結決算について説明していますか。（ 点）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

項目 目 (各質問項目のうち当該会社に該当しない) 項目はその回答を省いて下さい。	いざれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)
(5) 決算説明会およびアナリストミーティングで経営トップなど経営全般について語れる人が経営方針等を十分に説明していますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6) 経営トップなど経営全般について語れる人へのインタビューは容易ですか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7) IR部門に十分な情報が集積されており、IR担当者と有益なディスカッションができますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8) IR部門以外のセクションへのインタビュー等は容易ですか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9) アナリストが参加できる工場見学・商品発表会等を実施していますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(10) 連結の半期あるいは四半期決算を報告していますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(11) 説明資料による開示 (本項目は各専門部会委員のみが記載する)			
A 決算説明会で決算短信以外の説明資料を配布していますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B 設備投資の実績の内訳および計画は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C 減価償却費の実績および見通しは記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D 投融資の実績および主な内容は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E 保証債務の内容は十分に記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F 研究開発費の実績および計画は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
G 期末の従業員数および出向者数の実績ならびに計画は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
H 人件費の実績ならびに計画は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
I 販売費および一般管理費の主要項目(販売費、物流費、事業税など)の実績は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
J 営業外損益の主要項目(有価証券売却損益、有価証券評価損、為替差損益、社債発行費、ロイヤリティなど)の実績は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
K 特別損益の内訳およびその発生理由は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
L 部門別売上高の実績および計画が記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
M 部門別輸出高の実績および計画が記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
N 地域別売上高の実績および計画が記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
O 主要商品の売上高、販売数量および単価が記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P 事業別ならびに仕向け先別の受注実績および受注見通しが記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q 海外調達額の実績および計画は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
R 輸出入取引における通貨別取引高、決済レート、為替変動に伴う損益への影響額、為替予約状況等は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
S 連結決算の事業の種類別・所在地別セグメント情報は十分に説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
T 連結ベースの設備投資の実績および計画は説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
U 連結ベースの減価償却費の実績および見通しは説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
V 連結ベースの期末従業員数ならびに出向者数の実績および計画は記載されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(12) 説明会およびインタビュー等における開示			
A 説明会およびインタビュー等において上記(11)の各項目について十分に説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B/B/S の主要項目の増減理由は十分に説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C 利益増減要因は明確かつ十分に説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D 法人税等の算出根拠は説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E セグメント情報について十分な説明が行われていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F 受注残の内容について十分な説明が行われていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
G 次期の事業計画および中長期の経営方針が十分に説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

項目 目 (各質問項目のうち当該会社に該当しない) (項目はその回答を省いて下さい。)	いずれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)
H 研究開発内容などに関する技術的質問に十分に対応してくれますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
I 主な連結子会社・関連会社の損益、財務などの状況が十分に説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
J 連結子会社・関連会社、グループ関係企業の資本関係、投融資および保証が十分に説明されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. タイムリー・ディスクロージャー (東証へのファイリングを含む) (全体の10~5点)

項目 目 (各質問項目のうち当該会社に該当しない) (項目はその回答を省いて下さい。)	いずれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)
(1) アナリストが重要と判断する事項(業績変動、新製品・新技術、合併・提携、年金の資産内容、リース会計、偶発債務、デリバティブ取引、オフバランス取引など)の開示は遅滞なく、十分に行われていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) アナリストが重要と判断する事項に関しての質問に迅速に対応してくれますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) アナリストが重要と判断する事項の開示内容および質問への対応は十分ですか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 企業が自主的に公表している情報 (全体の20~10点)

項目 目 (各質問項目のうち当該会社に該当しない) (項目はその回答を省いて下さい。)	いずれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)
(1) ディスクロージャーは公平に行われていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) ファクトブックや統計補足情報等の内容は充実していますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) アニュアルレポートの内容は充実していますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 英文の決算説明資料を作成していますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5) 期中(月次、四半期、累計など)の売上高、受注等の実績は迅速、かつ詳細に公表されていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6) 重要な記者発表資料を送ってくれますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7) 決算発表は遅滞なく行われていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8) 要求すれば決算短信および補足資料を決算発表当日にファクシミリ等で送ってくれますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9) 要求すれば補足資料等を決算発表当日にファクシミリ等で送ってくれますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(10) インターネットを利用した情報提供は行われていますか。 (点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. その他当該会社のディスクロージャーについての変化点(本年度から〇〇〇を開示、〇〇説明会を実施等)、その他お気付きの点があれば自由にご記入下さい。

ディスクロージャー研究会業種別専門部会委員

平成9年9月

(建設)

部会長	増田 悅佐	HSBC ジェームズ・ケーベル証券会社東京支店 調査部
部会長代理	栗原 英明	日興リサーチセンター 事業調査部
	大堀 龍介	J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・イック 投資調査グループ
	小池 信広	新日本証券 企業投資調査部
	加藤 浩	大和総研 企業調査第一部
	塩入 正敏	スミスバーニー証券会社東京支店 調査部
	橋本 隆	ソモン・ブザーズ・アジア証券会社東京支店 株式調査部

(化学)

部会長	銀林 俊彦	モルגן・スタンレー証券会社東京支店 株式調査部
部会長代理	金井 孝男	野村證券金融研究所 企業調査部
	浅川 裕之	ゴールドマン・サックス証券会社東京支店 調査部
	石原 耕一	UBS 証券会社東京支店 調査部
	沢田 高志	日興リサーチセンター 事業調査部
	百嶋 徹	野村證券投資信託委託 株式調査部
	藤本 雄一	ドウェーモルガン・グレイドル証券会社東京支店 調査部

(医薬品)

部会長	中川 洋	メリルリンチ証券会社東京支店 調査部長
部会長代理	片山 俊二	ゴールドマン・サックス証券会社東京支店 調査部
	稻垣 善之	山一証券経済研究所 大阪支所
	田中 洋	大和総研 企業調査第二部
	中沢 安弘	日興リサーチセンター 事業調査部
	三島 茂	UBS 証券会社東京支店 調査部
	山本 義彦	ソモン・ブザーズ・アジア証券会社東京支店 株式調査部

(鉄鋼)

部会長	長井 亨	モルガノン・スタンレー証券会社東京支店 株式調査部
部会長代理	平沼 亮	野村総合研究所 企業調査部
	岩野 正宏	ゴールドマン・サックス証券会社東京支店 調査部長
	小枝 善則	和光経済研究所 産業調査第二部
	辻 典秀	新日本証券 企業投資調査部
	村田 崇	大和総研 企業調査第一部
	山口 敦	ジャーディン・フレミング 証券会社東京支店 調査部

(機械)

部会長	中澤 文彦	メリルリンチ証券会社東京支店 調査部
部会長代理	斎藤 克史	野村證券金融研究所 企業調査部
	上野 武昭	山一証券経済研究所 企業調査部
	星野 英彦	ジャーディン・フレミング 証券会社東京支店 調査部
	丸山 賢	UBS 証券会社東京支店 調査部長
	水野 英之	日興リサーチセンター 事業調査部
	望月 誠幸	モルガノン・スタンレー証券会社東京支店 株式調査部

(電気・精密機器)

部会長	井場 浩之	日興リサーチセンター 事業調査部
部会長代理	寺西 清高	野村證券金融研究所 企業調査部
	石野 雅彦	山一証券経済研究所 企業調査部
	引頭 麻美	大和総研 企業調査第二部
	澤嶋 裕希	岡三経済研究所 企業調査部
	山本 高穂	モルガン・スタンレー証券会社東京支店 株式調査部長

(自動車)

部会長	松島 憲之	日興リサーチセンター 事業調査部
部会長代理	広川 孝一	J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・イック 投資調査グループ
	遠藤 功治	BZWジャパン証券会社東京支店 調査部
	倉田 かおる	ゴールドマン・サックス証券会社東京支店 調査部
	田中 彰	山一証券経済研究所 名古屋支所長兼企業調査部
	柳池 信昭	勧角総合研究所 産業調査部
	吉田 廣行	三井信託銀行 受託資産運用部投資調査室

(商社)

部会長	加藤 友康	野村證券金融研究所 企業調査部
部会長代理	副島 智一	モルガン・スタンレー証券会社東京支店 株式調査部
	金森 淳一	スミスバーニー証券会社東京支店 調査部
	中湖 康太	SBCウォーバーグ証券会社東京支店 調査部
	吉田 憲一郎	ソロモン・ブラザーズ・アジア証券会社東京支店 株式調査部

(小売業)

部会長	鈴木 孝之	メリルリンチ証券会社東京支店 調査部
部会長代理	塚澤 健二	日興リサーチセンター 事業調査部
	清水 倫典	モルガン・スタンレー証券会社東京支店 株式調査部
	竹内 晋	山一証券経済研究所 企業調査部
	松岡 真宏	SBCウォーバーグ証券会社東京支店 調査部
	諸江 幸祐	ゴールドマン・サックス証券会社東京支店 調査部
	渡辺 淑乃	新日本証券 企業投資調査部

スニアシート記入リサーチ・アナリスト一覧表
【医薬品】

氏名	所属会社・部署名
高木 敦浩	野村證券金融研究所・企業調査部 大和総研・企業調査第一部
加藤 功一郎	日興リサーチセンター・事業調査部 大阪調査部
斎藤 功明	山一証券経済研究所・企業調査部
栗原 裕之	新日本証券・企業投資調査部
千種 広志	三洋経済研究所・企業調査部
狩野 泰宏	和光経済研究所・企業調査部
林 信広	勵角総合研究所・企業投資調査部
小池 秀樹	東京証券総合研究所・企業調査部
播磨 宏和	第一證券経済研究所・産業調査部
穴井 昌亮	和光経済研究所・産業調査第二部
吉田 明	和光経済研究所・産業調査第二部
久津 明洋	勵角総合研究所・産業調査部
菅野 明洋	岡三経済研究所・企業調査部
杉山 宏保	ユニバーサル証券研究所・投資調査部
柴山 和正	新日本証券・企業投資調査部
伊勢 和正	和光経済研究所・産業調査部
野島 一十	和光経済研究所・産業調査部
マケ・ブラン	勵角総合研究所・企業調査部
増田 悅佐	第一証券経済研究所・投資調査部
豊永 明美	太平洋証券・投資調査情報センター
塩入 正敏	ナショナル証券・投資調査部
城野 俊之	INGベアリング証券・投資調査部
橋本 隆昇	HSBCジャーマン・カーブ証券・調査部
三村 徳松	クレディ・リヨネ証券・調査部
飯田 悅子	スミソニー証券・調査部
秋山 新一	ソシエテジェネラル証券・調査部
新田 也	ロモン・ブリヂーズ・ジャニア証券・調査部
小林 俊二	ドレナージュ・ヘンリック証券・調査部
渡邊 良一	リーマン・プラザーズ証券・調査部
大堀 龍介	野村證券投資委託・株式調査部
	住友信託銀行・投資調査部
	三井信託銀行・受託資産運用部投資調査室
	合計： 23社 23名
	合計： 26社 30名

氏名	所属会社・部署名
金井 孝男	野村證券金融研究所・企業調査部
渡部 貴人	大和総研・企業調査第一部
沢田 高志	日興リサーチセンター・事業調査第一部
高尾 雄大	新日本証券・企業投資調査部
渋谷 宗男	三洋経済研究所・企業調査部
郷野 久	和光経済研究所・企業調査部
大矢 芳明	勵角総合研究所・産業調査部
渡辺 季彦	東京証券総合研究所・企業調査部
赤星 定和	第一證券経済研究所・投資調査部
高志 新名	和光経済研究所・産業調査部
堀内 一明	勵角総合研究所・産業調査部
茶之木 淳之	水戸証券経済研究所・調査部
浅川 裕之	さくら総合研究所・証券調査部
牧山 摩佐人	HSBCジャーマン・カーブ証券・調査部
藤本 雄一	ゴールドマン・サクス証券・調査部
澤底 正美	リコモ・ブリヂーズ・ジャニア証券・調査部
トミー・タム	BZWジャパン証券・調査部
銀林 後彦	メリルリンチ証券・株式調査部
石原 耕一	UBS証券・調査部
百嶋 徹	野村證券投資信託委託・株式調査部
佐藤 和生子	住友信託銀行・投資調査部
加藤 佳史	三井信託銀行・受託資産運用部投資調査室
	合計： 23社 23名

氏名	所属会社・部署名
田中 洋	大和総研・企業調査第一部
宮内 久美	大和総研・企業調査第一部
中沢 安弘	日興リサーチセンター・事業調査部
稻垣 善之	山一証券経済研究所・大阪支所
高橋 宏彦	和光経済研究所・産業調査第二部
有上 正子	岡三証券総合研究所・企業調査部
松川 高志	東京証券経済研究所・企業調査部
赤羽 義徳	ユニバーサル証券研究所・投資調査部
岡 安泰	第一證券経済研究所・企業調査部
新名 利和	水戸証券経済研究所・調査部
高沖 高志	ナショナル証券・投資調査部
関口 博之	さくら総合研究所・証券調査部
依田 俊英	INGペアリング証券・調査部
片山 将晃	ゴードマン・サクス証券・調査部
田中 義彦	ジヤーディ・ブルシック証券・調査部
山本 友和	リモセントラル証券・ジャニア証券・株式調査部
北村 友和	BZWジャパン証券・調査部
中川 洋	メリルリンチ証券・調査部
三島 茂	UBS証券・調査部
相田 和久	リーマン・プラザーズ証券・調査部
三田 万世	野村證券投資信託委託・株式調査部
山本 純	モルガン・スザン・カーブ証券・調査部
北村 友和	UBS証券・調査部
中川 洋	リーマン・プラザーズ証券・調査部
三島 茂	野村證券・調査部
相田 和久	リーマン・プラザーズ証券・調査部
三田 万世	野村證券・調査部
山本 純	リーマン・プラザーズ証券・調査部
北村 健	JPモルソン・イバントン・パートナーズ・グループ・投資調査部
	合計： 26社 27名

【機械】

氏名	所属会社・部署名
平沼 亮	野村證券金融研究所・企業調査部
村田 崇	大和総研・企業調査第一部
辻 典秀	新日本証券・企業投資調査部
小枝 善則	和光経済研究所・産業投資調査第一部
徳永 祐美	第一證券経済センター
浅野 昭朗	さくら総合研究所・証券調査部
飯田 行信	HSBCジャパン・ケーブル証券・調査部
鶴殿 実	ゴールドマン・サクル証券・調査部
岩野 正宏	ジヤデイ・ハリミック・証券・調査部
山口 敦一郎	リモ・アサース・アダム証券・調査部
吉田 憲一郎	ドウェン・モルテン・グレフュル証券・調査部
長谷川 稔	モガソン・スター証券・株式調査部
長井 亨	野村證券投資信託・株式調査部
百嶋 徹	住友信託銀行・投資調査部
佐野 昌幹	三井信託銀行・受託資産運用部投資調査室
若山 亨	J.P.モルガン・シカゴ・マネジメント・イク・
齊野 洋子	投資調査グループ
合計： 17社 17名	

【鉄鋼】

氏名	所属会社・部署名
斎藤 克史	野村證券金融研究所・企業調査部
水野 英之	日興リサーチセンター・事業調査部
上野 武昭	山一証券経済研究所・企業調査部
福田 健	三洋経済研究所・企業調査部
村上 宏俊	勧角総合研究所・産業調査部
黒田 真路	東京証券総合研究所・企業調査部
小山 誠司	第一證券経済研究所・企業調査部
福田 亨	ナショナル証券・投資調査部
木谷 英彦	ジャヤデイ・ハリミック・証券・調査部
星野 稔	スミソノバーニー証券・調査部
川原 文彦	ソシエテ・ジエナラル証券・調査部
木島 賢	メリルリッチ証券・調査部
中澤 幸	モルガン・スカラーズ証券・調査部
望月 賢	UBS証券・調査部
丸山 ポーラ	リマン・ブザーズ証券・調査部
菅原 剛	住友信託銀行・投資調査部
相馬 清	三井信託銀行・受託資産運用部投資調査室
星野 光利	コルゲ・イタヤカガル投資顧問・投資調査部
飛田 由美	J.P.モルガン・シカゴ・マネジメント・イク・
岩崎 岩崎	投資調査グループ
合計： 20社 20名	

【電気・精密機器】

氏名	所属会社・部署名
寺西 清高	野村證券金融研究所・企業調査部
若林 秀樹	野村證券金融研究所・企業調査部
松橋 郁夫	野村證券金融研究所・企業調査部
引頭 麻実	大和総研・企業調査第二部
山本 和也	大和総研・企業調査第二部
文秀 高品	大和総研・企業調査第二部
佳正 井場	大和総研・企業調査第二部
浩之 渡辺	日興リサーチセンター・事業調査部
彦彦 石野	日興リサーチセンター・事業調査部
洋 成宏	山一証券経済研究所・企業調査部
昌之 角田	山一証券・企業調査部
智之 米沢	国際証券・企業調査部
昌之 博司	新日本証券・企業調査部
昌之 納	三洋経済研究所・企業調査部
宏俊 村上	三洋経済研究所・企業調査部
徹明 夏井	三洋経済研究所・企業調査部
浩之 松本	三洋経済研究所・企業調査部
譲 佐藤	三洋経済研究所・企業調査部
雅央 市川	和光経済研究所・産業調査第二部
幸彦 嶋田	和光経済研究所・産業調査第二部
壮彦 吉田	和光経済研究所・産業調査第二部
善一 日暮	勧角総合研究所・産業調査部
浩一 藤本	岡三経済研究所・企業調査部
裕希 曽根	岡三経済研究所・企業調査部
基春 繁	ユニバーサル証券研究所・投資調査部
泰昌 山藤	東京証券総合研究所・企業調査部
秀明 相場	コスモ証券経済研究所・産業調査部
大幸 加藤	第一證券経済研究所・投資調査部
幸浩 吉田	第一證券経済研究所・投資調査部
重弘 飯塚	丸二証券・調査部
衛 高木	水戸証券経済研究所・調査部
茂樹 生方	東洋証券・証券調査部

氏名	所属会社・部署名
山崎 総一	山種調査センター
川村 明喜夫	ナショナル証券・投資調査部
鈴木 孝夫	ナショナル証券・投資調査部
井上 雅央	HSBCジャムズ・ケーブル証券・調査部
川田 邦彦	クレディ・リヨネズ証券・調査部
小野 雅弘	ゴールドマン・サックス証券・調査部
栗山 史	ゴードマン・サックス証券・調査部
高島 真一	サスーン証券・調査部
江口 雅美	ジヤード・シ・フレミング証券・調査部
佐藤 文昭	スマスピーニー証券・調査部
千綿 甲郎	カモン・ブザーズ・アーヴ証券・株式調査部
吉原 洋	ソロモン・ブザーズ・アーヴ証券・株式調査部
佐藤 甲綿	デ・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
越田 直樹	ト・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
高野 優	ド・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
阪口 公英	ド・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
高田 奈々子	ド・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
太田 清久	ド・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
高田 高穣	ド・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
山本 紀子	ド・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
隠樹 美治	ト・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
和泉 裕	ト・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
杉山 美保	ト・モモ・モモ・グレフエル証券・調査部
藤沼 純一	朝日投信委託・調査部
山下 寛	野村證券投資信託委託・株式調査部
徳江 刚	住友信託銀行・投資調査部
相馬 幸典	住友信託銀行・投資調査部
相澤 伸一	チエース信託銀行・運用部
山本 伸久	三井信託銀行・受託資産運用部投資調査室
北尾 滋	三井信託銀行・受託資産運用部投資調査室
吉仲 吉仲	住友生命保険(相)・株式運用部
	コメリ・パラナショナル投資顧問・投資調査部

氏名	所属会社・部署名
熊谷 智	J.P.モルソン・ハイストリート・パートナーズ・
名村 桐子	投資調査グループ
木村 淳一	J.P.モルソン・ハイストリート・パートナーズ・
松本 養	投資調査グループ
幾代 孝四郎	トヨー・アーベンティック・キャピタル 東京海上M/C投資顧問・運用第一部
	野村投資顧問・調査室
	合計: 43社 70人

【自動車】

氏名	所属会社・部署名
松島 嘉之 田中 彰 板谷 雅之 徳田 一憲 柳池 信昭 高野 芳行 倉田 かおる 青沼 英明 平ワド・ブロガッ エイダ・ケーブ 遠藤 功治 中西 孝樹 トイベンゾウ・リカ 橋本 明夫 吉田 貴行 飛田 光利 広川 孝一	日興リサーチセンター・事業調査部 山一証券経済研究所・名古屋支所 国際証券・企業調査部 和光経済総合研究所・産業調査部 勧角総合研究所・産業調査部 東京証券総合研究所・企業調査部 ゴールド・ヤ・サックス証券・調査部 ソシエテ・ジエ・ネラル証券・調査部 リロモ・フ・ザース・ア・ア証券・調査部 ドレスター・クラバート・ベ・ソ・ソ証券・調査部 BZWジャパン証券・調査部 メリハリシンチ証券・調査部 モルダ・スムール証券・株式調査部 住友信託銀行・投資調査部 三井信託銀行・受託資産運用部投資調査室 住友生命保険(相)・株式運用部 東京海上M/C投資顧問・投資調査部 J.P.モルダ・ソ・イハ・ストメント・ア・シ・ト・イク・ 投資調査グループ
合計： 17社 17名	

【総合商社】

氏名	所属会社・部署名
加藤 友康 岡谷 貴市 田舎 康太 中湖 淳一郎 金森 売一郎 吉田 真一 黒澤 智一 副島 希 国重 高光 大井 橋本 泰 拓哉 北尾 征久 辻本 臣哉 北川 哲雄	野村證券金融研究所・企業調査部 和光経済研究所・産業調査第二部 さくら総合研究所・証券調査部 SBCウォーターハーク証券・調査部 スマスノーニー証券・調査部 リロモ・フ・ザース・ア・ア証券・株式調査部 ド・仟エ・モルダ・ソ・イハ・ストメント・ア・シ・ト・イク・ モルダ・スムール証券・株式調査部 リーマン・ブランザーズ証券・調査部 野村證券投資信託委託・株式調査部 三井信託銀行・投資調査部 三井信託銀行・受託資産運用部投資調査室 住友信託銀行・投資調査部 三井信託銀行・受託資産運用部・ア・シ・ト・イク・ J.P.モルダ・ソ・イハ・ストメント・ア・シ・ト・イク・ 投資調査グループ
合計： 15社 15名	

【小売業】

氏名	所属会社・部署名
石井 宏和 斉藤 健二 塚原 知宏 芝原 晋 竹内 英樹 谷山 淑乃 渡辺 淑乃 永田 和子 等 大西 等 バイダ・敏子 松岡 真宏 諸江 真宏 内倉 栄三 小西 J.菊江 金森 淳一 鈴木 孝之 清水 倫典 出村 泰三 大矢 彩未 森 明希子 佐野 昌幹 片井 幸典 山本 陽子 武久 圭子 辻本 亘哉 村田 健	野村證券金融研究所・企業調査部 大和総研・企業調査第一部 日興リサーチセンター・事業調査部 日興リサーチセンター・大阪支所 山一証券経済研究所・企業調査部 国際証券・企業調査部 新日本証券・企業投資調査部 三洋経済研究所・企業調査部 東京証券総合研究所・企業調査部 コスモ証券経済研究所・調査部(大阪) HSBCジャーマン・ケーブル証券・調査部 SBCウォーベーグ証券・調査部 ヨーロッパ・マ・サクス証券・調査部 ヨーロッパ・マ・サクス証券・調査部 シユローダーバー証券・調査部 スマスノーニー証券・調査部 メリリンチ証券・株式調査部 モルダ・スムール証券・調査部 リーマン・ブランザーズ証券・運用調査部 山一證券投資信託委託・運用調査部 住友信託銀行・投資調査部 チエース信託銀行・運用部 三井信託銀行・受託資産運用部投資調査室 JPモルダ・ソ・イハ・ストメント・ア・シ・ト・イク・ 投資調査グループ
合計： 24社 27名	

建設ディスクロージャー評価比較総括表

評価対象企業 質問項目	1. 決算短信および有価証券報告書における開示（10点）								2. 説明会、インタビューやおよび説明資料等における開示（6.7点）								3. タイムリー・データ（東証へのファーリングを含む）（6.7点）								4. 企業が自主的に公表している情報（1.5点）								（単位：点、%、倍）			
	① 決算短信（8.5点）				② 有価証券報告書（1.5点）				計				③ イスクロージャー（東証へのファーリングを含む）（6.7点）				④ 企業が自主的に公表している情報（1.5点）				総（100点）				計				順位							
	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位			
鹿島建設	1	8.5	100	1	1.1	73	1	9.6	96	1	53.8	80	1	6.9	86	1	11.7	78	82.0	1																
西松建設	3	7.0	82	1	1.1	73	3	8.1	81	2	50.9	76	3	6.2	78	2	9.9	66	75.1	2																
熊谷組	3	7.0	82	1	1.1	73	3	8.1	81	3	46.5	69	5	6.0	75	8	7.7	51	68.3	3																
1社平均得点および平均得点率	平均得点	6.9	81	1.1	73	8.0	80	41.6	62	5.6	70	8.2	55	63.4																						
評価対象企業開示差	最高得点	8.5	1.5	—	1.1	1.0	—	9.6	1.4	—	53.8	2.1	—	6.9	2.4	—	11.7	3.9	82.0	2.1																
	最低得点	—	5.7	—	1.1	—	6.8	—	6.8	—	25.2	—	3.0	—	2.9	—	3.0	—	39.2	—	2.1															

注. 評価対象企業は、東証1部上場株式時価総額順位に列挙すると、鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組、戸田建設、熊谷組、五洋建設、奥村組、フジタ、前田建設工業の11社である

化学ディスクロージャー評価比較総括表

質問項目 評価対象企業	(単位:点、%、倍)																			
	1. 決算短信および有価証券報告書における開示					2. 説明会、インタビューやおよび説明資料等における開示					3. タイムリー・データ(東証へのフライリングを含む)					4. 企業が自主的に公表している情報				
	順位	得点	順位	得点	率	順位	得点	率	順位	得点	率	順位	得点	率	順位	得点	率	順位	得点	率
旭化成工業	3	9.1	83	3	3.1	78	3	12.2	81	1	62.5	89	1	4.6	92	1	9.3	93	88.6	1
住友化学工業	1	9.6	87	2	3.3	83	2	12.9	86	2	58.7	84	2	4.2	84	2	9.0	90	84.8	2
三菱化学	2	9.4	85	1	3.6	90	1	13.0	87	3	53.3	76	3	3.4	68	4	4.1	41	73.8	3
9社平均得点および平均得点率	平均得点	6.7	61	2.8	70	9.5	63	45.4	65	3.1	62	5.3	53	53	63.3					
評価対象企業開示差	最高得点	9.6	4.0	3.6	2.4	13.0	2.7	62.5	2.5	-4.6	2.1	9.3	2.8	88.6	2.1					
	最低得点	2.4	1.5	4.8	4.8	25.2	2.2					3.3	3.3	41.8	41.8					

注. 評価対象企業は、東証1部上場株式会社に列挙すると、旭化成工業、三菱化学、住友化学工業、信越化学工業、昭和電工、三井東京化学、宇部興産、東ソー、三井石油化学工業の9社である。

医薬品ディスクロージャー評価比較総括表

質問項目 評価対象企業	1. 決算短信および有価証券報告書における開示（10点）										2. 説明会、インタビューやおもてなし会における開示（10点）										3. タイムリー・データー（東証へのフローティング情報を含む）（6.8点）										4. 企業が自主的に公表している情報（12点）									
	①決算短信					②有価証券報告書					計					③タイムリー・データー（東証へのフローティング情報を含む）（6.8点）					④企業が自主的に公表している情報（12点）					計					⑤企業が自主的に公表している情報（10点）									
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位					
第一製薬	3	5.8	83	1	2.3	77	2	8.1	81	1	61.0	90	1	9.4	94	1	10.3	86	88.8	1																				
武田薬品工業	1	5.9	84	1	2.3	77	1	8.2	82	2	58.9	87	2	9.0	90	3	9.8	82	85.9	2																				
藤沢薬品工業	1	5.9	84	4	2.2	73	2	8.1	81	3	58.2	86	5	8.2	82	2	10.2	85	84.7	3																				
1社平均得点および平均得点率	5.4	77	2.1	70	7.5	75	48.0	71	7.2	72	8.2	68	70.9																											
評価対象企業開示差	最高得点	5.9	1.3	-2.3	1.2	-8.2	1.2	61.0	1.9	9.4	5.2	1.8	10.3	5.4	1.9	88.8	1.8																							
	最低得点	4.7						32.7																																

注. 評価対象企業は、東証1部上場株式時価総額順に列挙すると、武田薬品工業、三共、大正製薬、山之内製薬、エーザイ、第一製薬、萬有製薬、小野薬品工業、藤沢薬品工業、塩野義製薬、中外製薬の11社である。

鉄鋼ディスクロージャー評価比較総括表

質問項目		（単位：点、% 倍）															
		1. 決算短信および有価証券報告書における 開示			2. 講明会、インタビューやおよび 説明資料等における開示			3. タイムリー・データ（東証へのフローリングを含む）			4. 企業が自主的に公表している情報（15点）			合計（100点）	順位		
評価対象企業	①決算短信 (8.4点)	②有価証券報告書 (3.6点)			合計			順位	得点率	順位	得点率	順位	得点率	順位			
		順位	得点	得点率	順位	得点	得点率										
住友金属工業	2	2.7	32	5	1.1	31	3	3.8	32.1	42.6	63.2	3.3	66.1	11.2	75	60.9	1
川崎製鉄	5	2.1	25	5	1.1	31	6	3.2	27.2	41.5	61.1	3.4	68.2	10.0	67	58.1	2
日立金属	4	2.4	29	2	1.3	36	4	3.7	31.3	41.1	60.6	2.9	58.4	9.7	65	57.4	3
8社平均得点および平均得点率	平均得点	2.2	26	1.1	31	3.3	28	37.2	55	3.1	62	9.6	64	53.2			
評価対象企業開示差	最高得点	3.0	4.3	1.4	2.8	4.3	3.6	42.6	1.4	3.4	11.2	1.2	60.9	1.4	45.3	1.3	
	最低得点	0.7	0.7	0.5	1.2	30.6	2.8	30.6	8.1								

注：評価対象企業は、東証1部上場株式会社に列挙すると、新日本製鐵、川崎製鉄、日本钢管、住友金属工業、神戸製鋼所、日立金属、日新製鋼、東京製鐵の8社である。

機械ディスクロージャー評価比較総括表

評価対象企業 質問項目	1. 決算短信および有価証券報告書における開示								2. 説明会、インタビューやロッジヤーによる説明資料等における開示								3. タイムリー・データー（東証へのフアリングを含む） (6.7点)								4. 企業が自主的に公表している情報 (12点)							
	①決算短信 (9.7点)				②有価証券報告書 (3.3点)				計				③イスクロージャー（東証へのフアリングを含む） (6.7点)				④タイムリー・データー（東証へのフアリングを含む） (8点)				⑤企業が自主的に公表している情報 (12点)				⑥総合得点（100点満点）				順位	得点率		
	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位	得点	順位	得点率	順位			
小松製作所	1	7.5	77	1	2.8	85	1	10.3	79	1	53.6	80	1	6.6	83	1	11.4	95	81.9	1												
ダイキン工業	3	5.1	53	2	2.5	76	2	7.6	58	2	51.1	76	3	6.3	79	2	9.9	83	74.9	2												
荏原製作所	4	4.3	44	3	2.2	67	4	6.5	50	3	45.7	68	2	6.5	81	5	8.9	74	67.6	3												
1社平均得点および平均得点率	平均得点	3.3	34	1.7	52	5.0	38	35.5	53	5.0	63	6.9	58	52.4																		
評価対象企業開示差	最高得点	7.5	9.4	2.8	3.5	10.3	5.7	53.6	3.3	6.6	2.8	11.4	3.1	81.9	2.9																	
	最低得点	0.8	0.8	0.8	0.8	1.8	1.8	16.2	16.2	2.4	2.4	3.7	3.7	28.6																		

注：評価対象企業は、東証1部上場株式会社総額順に列挙すると、小松製作所、ファナック、クボタ、SMC、荏原製作所、日本精工、ミネベア、栗田工業、NTN、ダイキン工業、アマダの11社である

電気・精密機器ディスクロージャー評価比較総括表

質問項目 評価対象企業	1. 決算短信および有価証券報告書における開示 (15点)										2. 説明会、インダビューやおよび説明資料等における開示 (60点)										3. タイムリー・データクロージャー（東証へのフライリングを含む） (10点)										4. 企業が自主的に公表している情報 (15点)	
	①決算短信 (11.7点)					②有価証券報告書 (3.3点)					計					③説明会、インダビューやおよび説明資料等における開示 (60点)					④タイムリー・データクロージャー（東証へのフライリングを含む） (10点)					⑤企業が自主的に公表している情報 (15点)						
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	
日立製作所	2	7.3	62	2	1.8	55	2	9.1	61	2	44.1	74	3	8.2	82	7	11.1	74	72.5	1												
富士通	6	5.9	50	16	0.8	24	6	6.7	45	1	44.8	75	2	8.3	83	4	11.6	77	71.4	2												
ソニー	1	7.7	66	1	2.6	79	1	10.3	69	9	37.6	63	1	8.7	87	1	13.8	92	70.4	3												
16社平均得点および平均得点率	平均得点	4.2	36	1.5	45	5.7	38	37.7	63	7.4	74	74	10.7	71	61.5																	
評価対象企業開示差	最高得点	7.7	19.3	2.6	3.3	-10.3	6.9	44.8	1.6	8.7	1.5	13.8	8.1	1.7	72.5	1.5																
	最低得点	0.4	-	0.4				28.2		5.9		47.1																				

注：評価対象企業は、東証1部上場株式会社総額順位に列挙すると、松下電器産業、日立製作所、ソニー、東芝、キヤノン、日本電気、富士通、シャープ、三菱電機、京セラ、TDK、三洋電機、村田製作所、ローム、リコー、松下電工の16社である

自動車ディスクロージャー評価比較総括表

質問項目		1. 決算短信および有価証券報告書における開示		2. 説明会、インタビューやおおよび有価証券報告書における開示		3. タイムリー・データー（東証へのフライティングを含む）		4. 企業が自主的に公表している情報（11点）		総合評価（100点）		順位
		①決算短信 (7.0点)	②有価証券報告書 (3.0点)	計	順位	得点率	順位	得点率	順位	得点率	順位	
順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1	5.1	73	1	2.3	77	1	7.4	74	1	7.0	88	1
トヨタ自動車	2	4.7	67	2	2.0	67	2	6.7	67	2	6.2	78
日産自動車	7	2.4	34	5	1.1	37	6	3.5	35	3	39.7	56
10社平均得点	平均得点	2.7	39	1.2	40	3.9	39	33.5	47	4.5	56	42
評価対象企業開示差	最高得点	5.1	12.8	2.3	23.0	7.4	14.8	52.1	2.6	7.0	8.1	74.6
	最低得点	0.4	0.4	0.1	0.1	0.5	0.5	20.4	2.6	2.5	1.9	2.8
												26.6

注：評価対象企業は、東証1部上場株式会社に列挙すると、トヨタ自動車、本田技研工業、日産自動車、三菱自動車工業、いすゞ自動車、マツダ、スズキ、日野自動車工業、富士重工業、ダイハツ工業の10社である。

商社デスクローディヤー評価比較総括表

質問項目		1. 決算短信および有価証券報告書における開示（10点）		2. 説明会・インタビューやおよび説明資料等における開示（東証へのフライリンクを含む）（71点）		3. タイムリー・データ（スクリーン等における開示）（71点）		4. 企業が自主的に公表している情報（11点）		総合計（100点）		順位
		①決算短信（3.6点）	②有価証券報告書（6.4点）	計	順位	得点率	順位	得点率	順位	得点率	順位	
三井商事	1	2.4	67.1	3.6	56.1	6.0	60.2	39.4	55.2	6.3	79.2	8.9
三井物産	1	2.4	67.1	3.6	56.1	6.0	60.3	37.2	52.1	6.4	80.1	9.3
ニチメン	5	1.5	42.5	2.5	39.5	4.0	40.1	42.2	59.5	5.5	69.7	2.7
9社平均得点および平均得点率	平均得点	1.9	53.0	3.0	47.4	4.9	49.9	31.9	45.4	4.8	60.6	5.5
評価対象企業開示差	最高得点	2.4	1.6	3.6	1.4	6.0	1.5	42.2	1.9	6.4	3.0	9.3
	最低得点	1.5	2.5	2.5	4.0	22.4	2.1	22.4	2.1	2.1	2.0	60.6
												30.5
												2.0

注：評価対象企業は、東証1部上場株式会社総額順に列挙すると、三井物産、住友商事、伊藤忠商事、丸紅、日商岩井、トーメン、ニチメン、兼松の9社である。

小売業(百貨店・スーパー)ディスクロージャー評価比較総括表

質問項目		1. 決算短信および有価証券報告書における 開示 (10点)										2. 説明会、インタビューやおよび 説明資料等における開示 (70点)										3. タイムリー・データ(果証へのフロー) とアイリングを含む (15点)										(100点) 計		順位	
		①決算短信 (4.2点)		②有価証券報告書 (5.8点)		計		順位		得点率		順位		得点率		順位		得点率		順位		得点率		順位		得点率		順位							
評価対象企業	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位								
ジャスコ	3	2.1	50	2	2.1	36	2	4.2	42	2	55.8	80	2	3.7	74	1	12.8	85	76.5	1															
ユニー	3	2.1	50	4	1.9	33	4	4.0	40	1	56.2	80	3	3.5	70	2	12.2	81	75.9	2															
イトーヨーカ堂	1	2.7	64	1	2.2	38	1	4.9	49	3	55.2	79	1	4.2	84	4	11.0	73	75.3	3															
11社平均得点および平均得点率	平均得点	2.1	50	2.0	34	4.1	41	41.0	59	2.8	56	9.7	65	57.6																					
評価対象企業開示差	最高得点	2.7	1.4	2.2	1.2	4.9	1.3	56.2	3.5	4.2	1.9	12.8	2.2	5.2	76.5	2.5	27.4	2.8																	
	最低得点	2.0		1.9		3.9		16.2																											

注. 評価対象企業は、東証1部上場株式時価総額順に列挙すると、丸井、高島屋、三越、伊勢丹、阪急百貨店、イトーヨーカ堂、ジャスコ、ダイエー、マイカル、ユニー、西友の11社である。